

箕面市地域公共交通活性化協議会 ニュースレター

箕面市地域公共交通活性化協議会事務局
平成 21 年（2009 年）7 月 29 日発行

第 2 号

分科会委員による現地調査を実施しました

7 月 14 日（火）に現地調査として、市民委員の皆様、現在運行中の箕面市公共施設巡回福祉バス（Mバス）に実際に乗車してもらいました。

その後、市役所第三別館にて、市内移動のためのバス交通に関する問題点や今後の課題についての取り組み方などについての意見交換会を実施しました。

委員の皆様からは、今後の分科会で検討するうえで参考となる様々な意見などが寄せられました。

（主な意見）

- ・ Mバスの停留所と路線バスの停留所を一致させてほしい。（停留所の増設）
- ・ Mバスの運行間隔がまちまちなので、一定間隔で運行してほしい。
- ・ 路線バスの山麓線とMバスの東部北コースなど走行区間が並行している場合は、発車時刻の調整を行ってほしい。
- ・ （主に市の東部から）箕面駅への移動が不便なので、一度千里中央を経由してから移動している。
- ・ 病院の受診時間に間に合うように、あるいは休日のイベント等の参加でも利用できるように、運行時間帯の延長や運行日の拡大（日曜日の運行）を行ってほしい。
- ・ 市民に対する利用促進のための広報活動が必要である。



第 2 回分科会を開催しました

実施日時：平成 21 年（2009 年）7 月 17 日（金）午後 2 時～

場 所：箕面市役所第三別館 4 階 大会議室

出席者：35 名

内 容：テーマ・コンセプトの確認

市民ニーズ等の把握

運行日・運行時間帯・便数・運行ルートの検討



テーマ・コンセプトの確認

第 1 回協議会の各班での検討内容を踏まえ、「市民に愛され使いたくなるバス」（安心・便利・元気・連携）という大きなテーマ・コンセプトを見出せたことを確認しました。

～市民に愛され使いたくなるバス～

安心

障害者や高齢者が安心 / 市民の誰もが安心

便利

日常生活の移動が便利 / 社会生活の移動が便利

元気

自分が元気 / まちが元気 / 地球が元気

連携

鉄道と連携 / 自転車と連携 / 商業と連携

市民ニーズ等の把握

6 月に行われたバス OD（乗降）調査や自治会意向調査結果、過去に行われた各種調査結果について、市内移動のためのバス路線に対するニーズを多角的な視点で分析した結果を報告しました。

【バス OD（乗降）調査結果の概要】

- ・ 一日の利用者数は、Mバス（全コース）が 862 人、路線バス（循環便）が 440 人。
- ・ Mバスのコース別の内訳は、西部北 212 人、西部南 175 人、中部 110 人、東部北 274 人、東部南 78 人、北部 1 人。

【自治会意向調査結果の概要】

- ・ バスサービスの充実度は、市西部の丘陵や市中部～市東部の国道 171 号以南の地区で不足していると感じている。
- ・ バスを利用して行きたい場所は、市立病院、かやの中央、箕面駅とその周辺、市役所、船場団地が多い。
- ・ 停留所位置の見直しの要望は、市内の 3 つのエリアと 16 の場所が挙げられている。

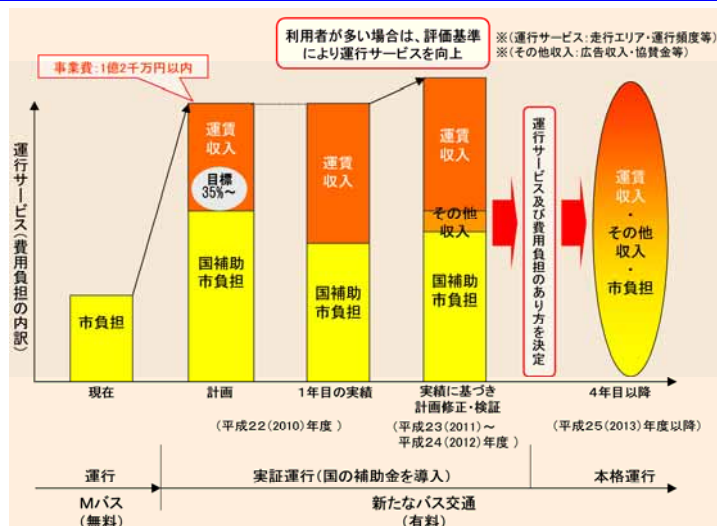


運行日・運行時間帯・便数・運行ルートの検討

計画づくりは、事業費（運行経費）1億2千万円で検討しました

初年度の事業費（運行経費）を1億2千万円として、Mバスの運行サービスと比べると飛躍的に向上させることを目指した計画づくりを進めました。

なお、計画策定後、運行開始して利用者が多く、運賃収入が目標を上回れば、運行サービスの向上が可能になります。



運行する日、時間帯および便数を考慮したうえで、具体的なルートを検討しました

■ 目的地(行き先)の検討

自治会意向調査結果から、日常生活の移動が同様な地域を区分したうえで、市民ニーズ等を踏まえた目的地(行き先)を市内の地図上に、青や赤のシールを貼りました。

その結果、箕面駅や箕面駅周辺商業施設、市役所、市立病院、松寿荘、かやの中央等が特にニーズの高い目的地(行き先)であることが確認されました。

■ 運行ルートの検討

つづいて、運行する日、時間帯および便数を検討したうえで、目的地(行き先)を貼った地図上に、バス停へのアクセスや目的地までの所要時間等を考慮しながら、コース毎に紐とまち針を用いて運行ルートを描きました。

■ 検討結果の発表

最後に、各班での検討結果について全体発表を行いました。

1班	・かやの中央や箕面駅をターミナルとして、乗継ぎを図る。 ・平和台から箕面駅への利用を考慮した停留所の検討が必要。 ・市立病院に乗り入れる。・松寿荘の利用にも配慮する。
2班	・運行ルートは箕面駅を起点とする。 ・国道171号経由で瀬川への延伸や松寿荘への乗り入れの検討が必要。 ・中部コースの一部を効率よく組み合わせたルートの検討も必要。
3班	・山麓線や国道171号等を周回させて、市内の主要な施設を経由する。 ・現在の箕面山麓線(36・37系統)をベースとして、経路の一部を変更・追加。 ・バスに乗って行きたい場所を可能な限り網羅するルートの検討が必要。
4班	・東部北コースは路線バスを充実させることで対応。 ・片回りの運行については再考が必要。 ・東部のみを循環する運行ルートの検討が必要。
5班	・週末の市内の道路状況を考慮した運行日等の検討が必要。 ・将来の高齢化を考慮して、市立病院やかやの中央(ヴィソラ)へのルートを確認。 ・現在、バス利用が不便な東山住宅へ乗り入れの検討が必要。



分科会長より

今回の分科会において各班で検討されたルート案や検討の際に出されましたご意見については、今後分科会としてとりまとめるルート案の作成にとって非常に重要なものとなります。

今回検討いただいたルート案を実際に走行する現地調査を行ったうえで、次回の分科会では、さらに、運行頻度や乗継ぎ等も含め、再度ルート案を議論していきたいと思います。

お問い合わせ

箕面市地域公共交通活性化協議会事務局 (箕面市役所 地域創造部交通政策課)
住所: 箕面市西小路4丁目6番1号 電話: 072-723-2121(代表) Eメール: koutuu@maple.city.minoh.lg.jp

ニュースレターのバックナンバーは箕面市地域創造部交通政策課のホームページに掲載しています

<http://www2.city.minoh.osaka.jp/KOUTUU/home.html>